

## 医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター 小腸大腸肛門科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年10月 福島県立医科大学会津医療センター 小腸大腸肛門科学講座  
遠藤俊吾

### 【研究課題名】

インターシード®を使用した腹腔鏡補助下大腸癌手術後の腸閉塞発症率

【研究期間】2020年10月（承認後）～2024年8月

### 【研究の意義・目的】

- ・腹部の手術を受けられると腸が他の臓器（例えば、腹壁、腸同士など）と癒着し、腸閉塞の原因となることが知られています。この癒着を予防するために用いられるのが癒着防止剤で、インターシードなどの商品が保険診療の範囲内で使用することができます。今回、当科では大腸癌に対し腹腔鏡手術を行い、癒着防止のために癒着防止剤インターシードの使用が必要と判断され、使用された患者さんを対象として、術後2年以内の腸閉塞発症率と、腸閉塞発症の危険因子を明らかにすることを目的とします。

### 【研究の対象となる方】

2020年10月（承認後）から2022年8月31日までの間に福島県立医科大学会津医療センター 大腸肛門外科にて腹腔鏡手術が行われ、癒着防止剤として、インターシードが使用された20歳から80歳までの患者さんが対象となります。

この研究は手術の際に医師が、癒着防止剤が必要と判断して、癒着防止剤の中でもインターシードが使用された方が対象となり、その後の経過を観察する侵襲、介入とにもない研究です。このため、ホームページを用いて情報公開を行います。参加対象者から参加拒否の申し出があった場合は速やかに登録票を削除します。

### 【研究の方法】

2020年10月（承認後）から2022年8月31日までの間に福島県立医科大学会津医療センター 大腸肛門外科にて腹腔鏡手術が行われ、インターシードが使用された20歳から80歳までの患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、大腸癌の進行度、術式、手術時間、出血量、術後合併症の有無、インターシードの貼付部位、治療前の検査データ等

### 【研究組織】

#### 研究責任者

（所属）会津医療センター小腸大腸肛門科学講座 （職）教授 （氏名）遠藤俊吾

#### 研究分担者

（所属）会津医療センター小腸大腸肛門科学講座 （職）准教授 （氏名）五十畑則之

（所属）会津医療センター小腸大腸肛門科学講座 （職）病院助手 （氏名）松井田元

（所属）会津医療センター小腸大腸肛門科学講座 （職）研究生 （氏名）根本鉄太郎

#### 研究代表者

（所属）日本医科大学附属病院 消化器外科 （職）准教授 （氏名）山田岳史

#### 研究参加施設

帝京大学ちば総合医療センター 外科 （職）教授 （氏名）幸田圭史

埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 (職) 教授 (氏名) 石田秀行  
順天堂大学 下部消化管外科 (職) 教授 (氏名) 坂本一博  
福岡大学 消化器外科 (職) 教授 (氏名) 長谷川傑  
産業医科大学 第一外科 (職) 教授 (氏名) 平田敬治  
香川大学 消化器外科 (職) 講師 (氏名) 隈元謙介  
愛媛大学 消化器腫瘍外科 (職) 講師 (氏名) 石丸啓  
山梨大学 第一外科 (職) 教授 (氏名) 市川大輔  
岐阜大学 腫瘍外科 (職) 特任教授 (氏名) 高橋孝夫  
東京大学 腫瘍外科 (職) 教授 (氏名) 石原聡一郎  
東京慈恵会医科大学 下部消化管外科 (職) 准教授 (氏名) 衛藤謙  
東京女子医科大学東医療センター 外科 (職) 講師 (氏名) 横溝肇  
東京医科大学 消化管・小児外科 (職) 講師 (氏名) 榎本正統  
兵庫医科大学 下部消化管外科 (職) 助教 (氏名) 片岡幸三  
西陣病院 外科 (職) 部長 (氏名) 高木剛  
川崎幸病院 外科 (職) 部長 (氏名) 伊藤慎吾  
済生会横浜市南部病院 外科 (職) 部長 (氏名) 虫明寛行  
横浜市立大学付属病院 消化器・一般外科 (職) 准教授 (氏名) 湯川寛夫  
日本医科大学千葉北総病院 外科 (職) 教授 (氏名) 鈴木英之  
日本医科大学武蔵小杉病院 外科 (職) 助教 (氏名) 横山康行  
日本医科大学多摩永山病院 外科 (職) 講師 (氏名) 丸山弘

**【他の機関等への試料等の提供について】**

1. 提供先：研究事務局

日本医科大学付属病院 消化器外科

山田 岳史 (研究事務局代表)

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話：03-3822-2131 (内線 6752) FAX：03-5685-0989

E-mail：y-tak@nms.ac.jp

2. 提供する試料・情報の項目：上記【研究方法】に記載

3. 提供方法：メール送付

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21-2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター小腸大腸肛門科学講座

担当 遠藤俊吾

電話：0242-75-2100 FAX：0242-75-2568

E-mail：s-endo@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21-2  
公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター小腸大腸肛門科学講座  
担当 遠藤俊吾  
電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568  
E-mail:s-endo@fmu.ac.jp